

事業所名 グループホーム 中央
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 2月 6日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 社会福祉法人生活指導員
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 看護師(40年以上)
資格・経験 看護師、介護支援専門員

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>職員は、入居者の尊厳と自主性を重要視し、個別ケアを大切にしている。快適な暮らしを提供できる環境や、人材育成に努め、全体のケアレベルを維持向上できるように取り組んでいる。</p> <p>入居者が出来ることは意欲的に行ってもらい、必要に応じて援助している。また、このような毎日の積み重ねが入居者の自信へと繋がっている。入居者の尊厳を守り、心豊かなホーム生活となることを目指している。</p> <p>職員は、介護のプロとして日々介護技術を磨き、「介護の専門性と技術力」を確保して入居者に安心感を与え、また、家族が信頼して任せられる快適な生活環境の整備を目指している。</p> <p>特別養護老人ホームを中心に、併設施設との連携を生かした取り組みと関わりを深め、相互間に良い相乗効果をもたらすよう努力している。</p> <p>運営推進会議を通じ、認知症について地域社会への理解を深める啓発を行い、地域の人の信頼関係の構築に努め、地域の人々も安心して老後を過ごせるように取り組んでいる。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>職員は、入居者の身体に触れながらアイコンタクトで話しかけ、優しさやタッチングで心に寄り添う介護を心掛けている。お互いに打ち解けられる雰囲気作りを行い、入居者が疎外感を持たず、また、退屈しないように工夫して支援している。</p> <p>わだかまり無く笑顔でケアに入る職員の接遇態度が入居者への潤いのある介護へ繋がるとして、管理者は職員の話をよく聞き、職員が平穏な心理状態になるように心掛けている。</p> <p>入居者が目的意識を持って好きな事に取り組み、一生涯懸命に生きている姿を示せるように職員は援助しており、入居者の自主性を守り、入居者の心が落ち着くケアを目指している。</p> <p>入居者は、共用空間に自分の定位置を確保しており、そこで心地よく過ごせるように支援している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

外部評価の結果

講評
<p>全体を通して特に良いと思われる点など(記述)</p> <p>J Rの駅より車で5分、東北の中心地津山市に近く、風光明媚で四季の移り変わりを愛でることが出来る中山間地の小高い丘にホームはある。</p> <p>東北で最初に設立された「グループホーム白寿荘」に加え、地域関係者からの強い要望により「グループホーム中央」は設立された。地域住民・行政関係者からも深い信頼と高い評価を得ており、運営推進会議を通じて地域との連携は進んでいる。</p> <p>総合病院との医療連携があり、緊急時には24時間対応してもらえる。入院の受入れも可能で、入居者は安心してホーム生活を過ごせる。</p> <p>子供や孫のような職員の存在は、入居者にとって心理的に好影響をもたらしている。高齢化し、重度化する入居者への職員の対応は熟練されたものであり、また、職員からは人生の先輩である入居者から学ぶ姿勢が感じられる。</p> <p>入居者・家族に配慮し、グループホームの利用に伴う料金を低額に設定している。</p> <p>白寿荘小規模多機能ホーム「みさき」とは、地域密着型サービスの趣旨に沿ってしっかりと連携している。また、併設されている特別養護老人ホームとも連携して機能を有効に活用している。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点(記述)</p> <p>要改善として指摘すべき点は見当たらず、管理者を筆頭に職員は一丸となり、介護レベルの向上に向けて鋭意に研鑽されている。高齢化し、重度化してくる入居者の対応についてさらに研究し、職員の介護力・適応能力をより一層磨いていけることを期待する。</p>

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>職員は入居者を人生の先輩と敬い、その経験と知恵を尊重している。入居者の特長・能力を生かし、好きな事の能力を伸ばせる取り組みをしている。</p> <p>「トイレ誘導は小声で優しく呼び掛ける、入室時にはノックをして了解を得てから入室する、居室の名前の表示は本人の許可を得てから行う、広報に載せる顔写真は許可を得てから掲載する」等、入居者の尊厳に留意している。個人相談については、居室に行ってから話し、入居者のプライバシーを保護するようにしている。</p> <p>入居者の個人記録類は、事務室の鍵の掛かるところに管理者が責任を持って保管している。入居者が入院した場合、居室には鍵を掛け、個人のプライバシーを守るようにしている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>運営推進会議を通じて地域関係者の意見を積極的に取り入れ、住民サービス及び介護サービスの質向上に努力している。介護技術の内部研修会を毎月開き、ロールプレイでは職員が入居者になって入居者への理解を深め、細かい所にも手が届くケアの技術を磨いている。</p> <p>共同生活に関する各種のサービス関連マニュアルや、緊急体制マニュアル(行方不明捜索マニュアル等)を整備し、職員の誰が担当しても同じ介護レベルであり、安全・安心のケアが提供できるように取り組んでいる。</p> <p>職員は、緊急時の対処マニュアルをしっかりと把握しており、年3回の夜間及び昼間の火災等を想定した訓練で活かしている。入居者も参加して避難訓練を実施しており、緊急時に向けて日頃から訓練している。</p> <p>転倒等些細な事故・ヒヤリハット・トラブルも、細かく事故処理書に記録している。事故の状況・対応・今後用心すべき事項をまとめ、事故・トラブルの再発防止に努めている。</p>		